

在宅医療に関することについて

□調査期間

令和6年11月25日～12月6日

□調査の趣旨

在宅医療に関することについて、お聞きします。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケア等を自分で決めることや、希望を人に伝えることができなくなると言われています。自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを市民一人ひとりが前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

市民の意識と現状の差を埋める取り組み(医療・介護連携事業)につなげるため、市民自らが人生の最終段階の医療や介護をどのように受けたいかについて、お聞きします。

※設問内容に関しては、厚生労働省の「人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査(令和5年12月)」を一部使用しています。

□対象者数

1,424 人(令和6年11月25日現在)

□回答者数

916 人

□回答率

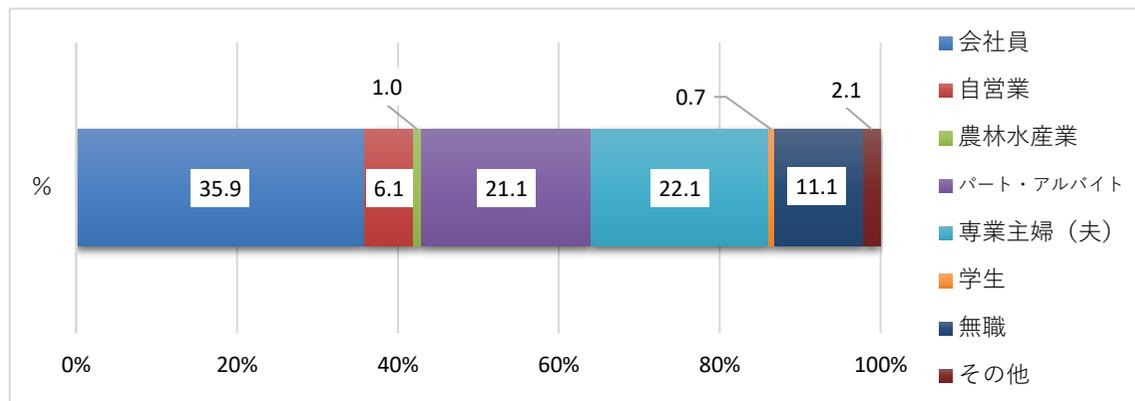
64.3 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【Q1】まずは、モニター情報を教えてください。

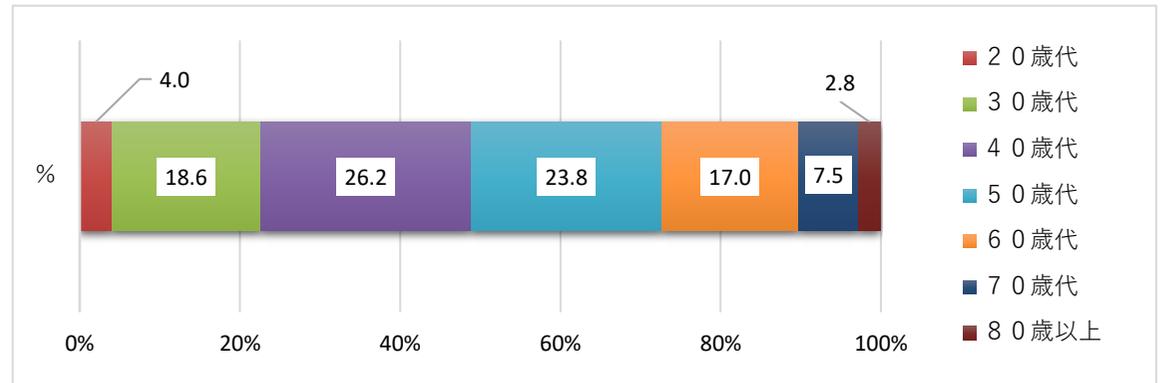
【職業】

内訳	人数	%
会社員	329	35.9
自営業	56	6.1
農林水産業	9	1.0
パート・アルバイト	193	21.1
専業主婦(夫)	202	22.1
学生	6	0.7
無職	102	11.1
その他	19	2.1
合計	916	100.1



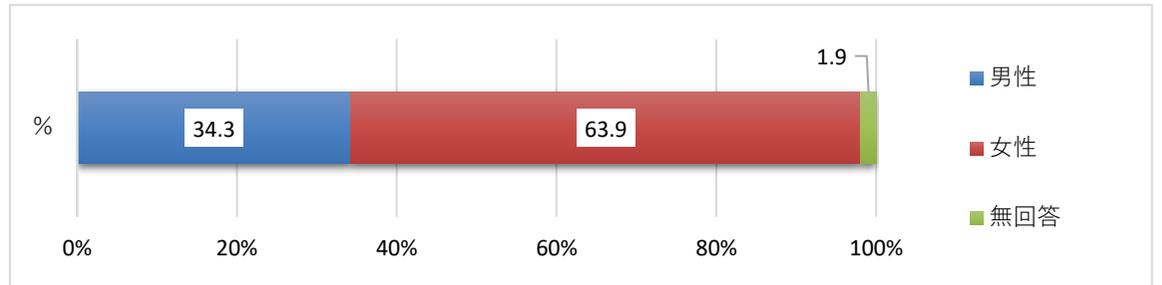
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	37	4.0
30歳代	170	18.6
40歳代	240	26.2
50歳代	218	23.8
60歳代	156	17.0
70歳代	69	7.5
80歳以上	26	2.8
合計	916	99.9



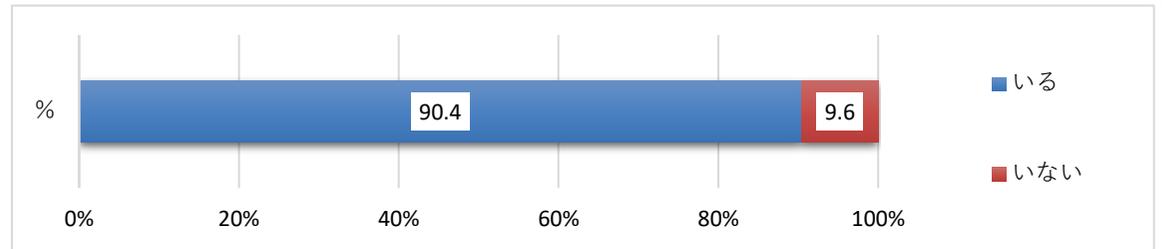
【性別】

内訳	人数	%
男性	314	34.3
女性	585	63.9
無回答	17	1.9
合計	916	100.1



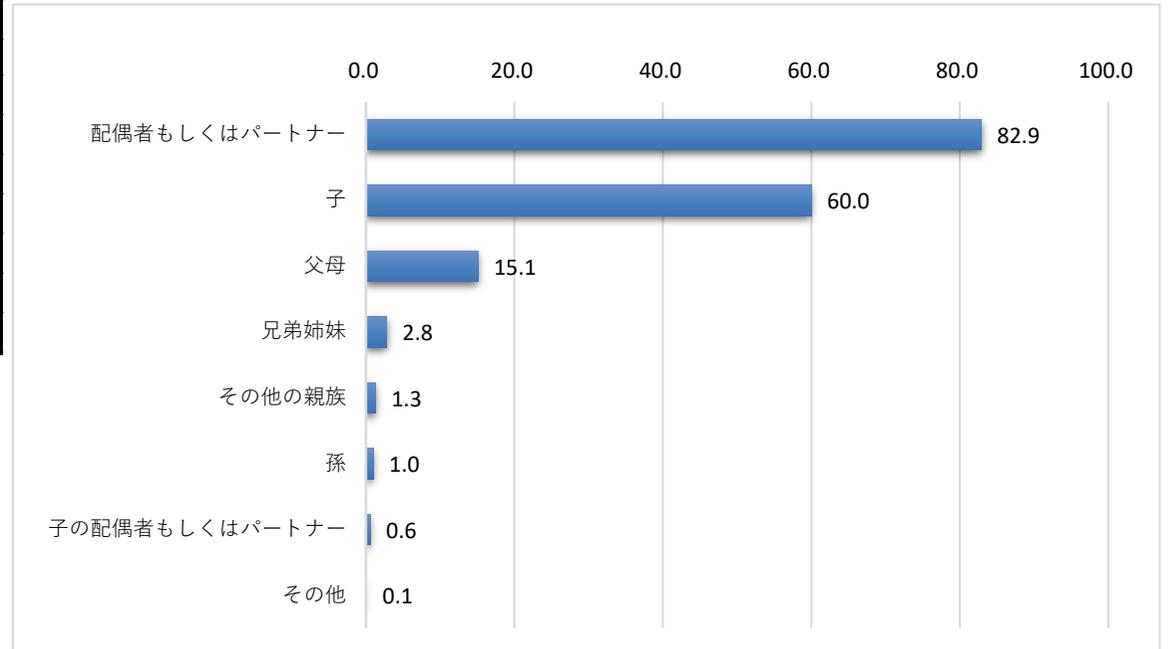
【同居人の有無】

内訳	人数	%
いる	828	90.4
いない	88	9.6
合計	916	100.0



【同居人が「いる」を選択された方に伺います。同居している人との関係性を教えてください。(あてはまるもの全て選択)】

内訳	人数	%
配偶者もしくはパートナー	686	82.9
子	497	60.0
父母	125	15.1
兄弟姉妹	23	2.8
その他の親族	11	1.3
孫	8	1.0
子の配偶者もしくはパートナー	5	0.6
その他	1	0.1

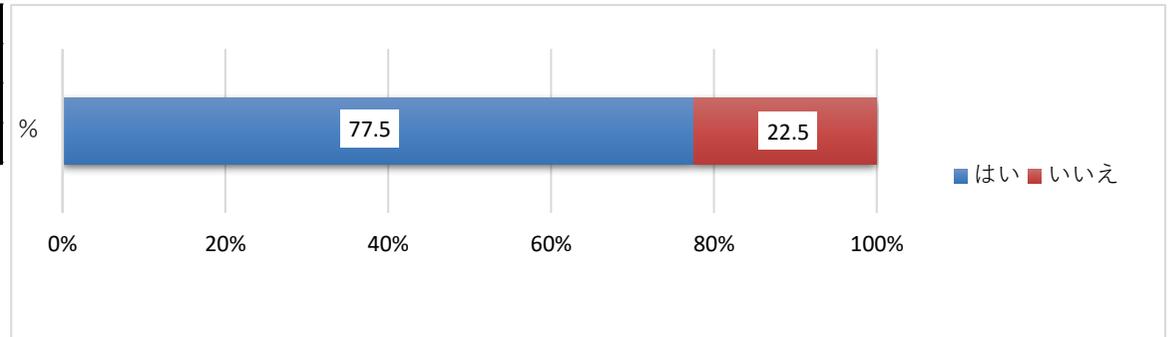


【その他(対象1人)】

- 猫

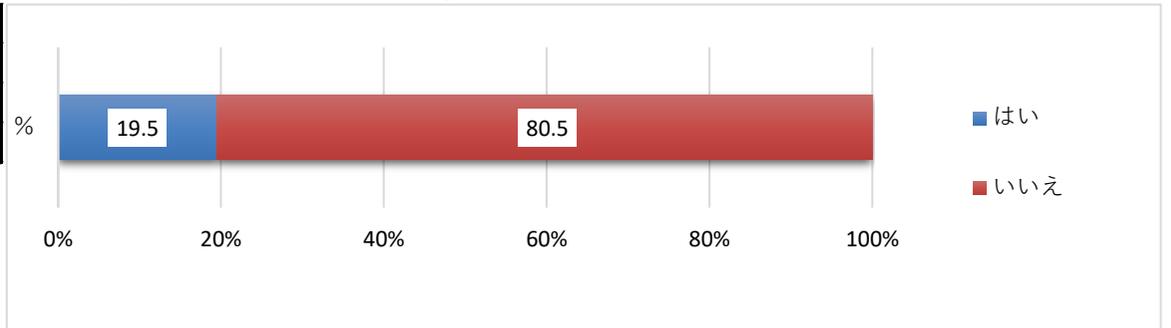
【Q2】あなたは、在宅医療についてご存じですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
はい	710	77.5
いいえ	206	22.5
合計	916	100.0



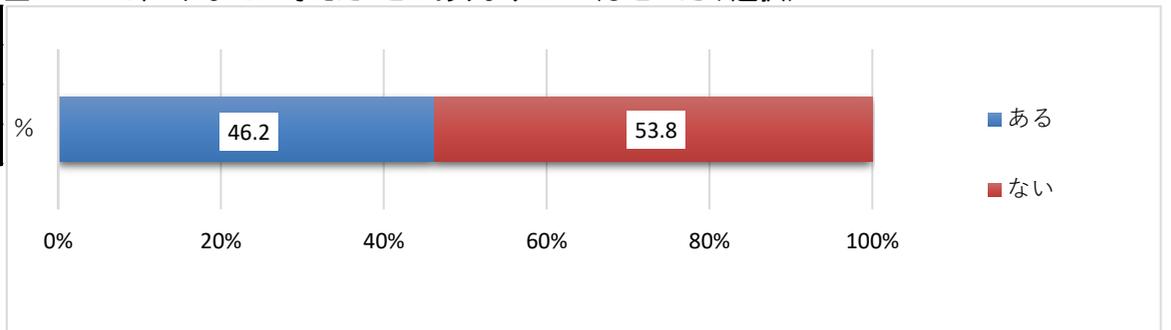
【Q3】あなたは、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み「ACP(アドバンス・ケア・プランニング、愛称:人生会議)」についてご存じですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
はい	179	19.5
いいえ	737	80.5
合計	916	100.0



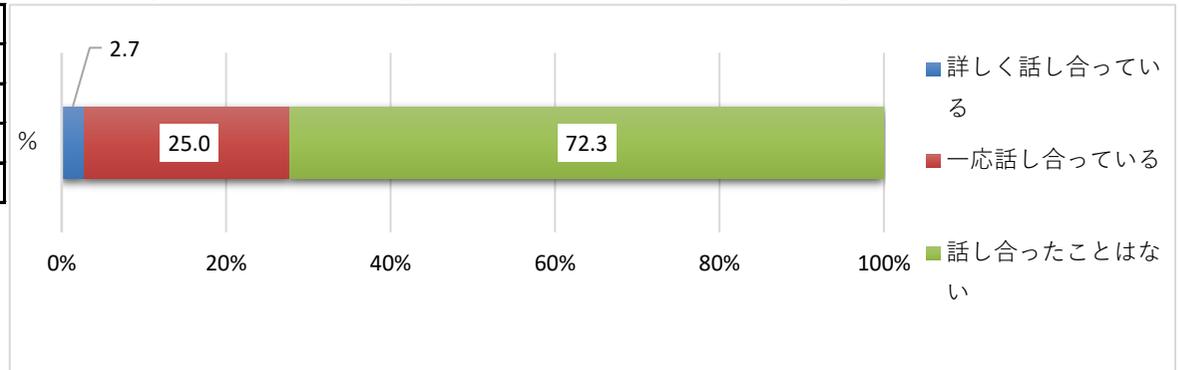
【Q4】あなたは、人生の最終段階における医療・ケアに関する希望について、これまでに考えたことがありますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
ある	423	46.2
ない	493	53.8
合計	916	100.0



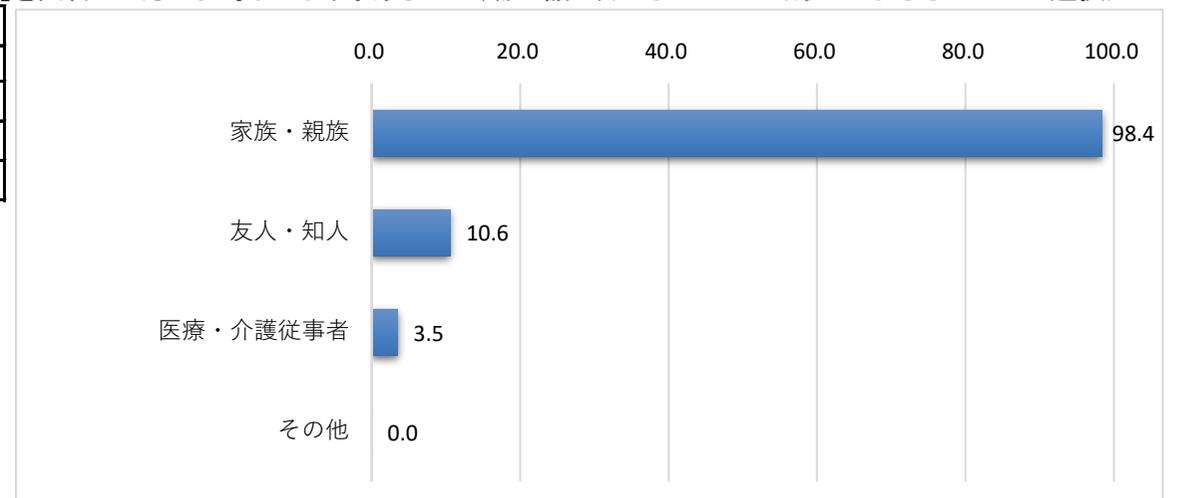
【Q5】あなたが人生の最終段階で受たいもしくは受たくない医療・ケアについて、ご家族等や医療・介護従事者と詳しく話し合っていると思いますか？（ひとつだけ選択）※「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・ケアに関する方針を決めてほしいと思う人（友人、知人）を含みます

内訳	人数	%
詳しく話し合っている	25	2.7
一応話し合っている	229	25.0
話し合ったことはない	662	72.3
合計	916	100.0



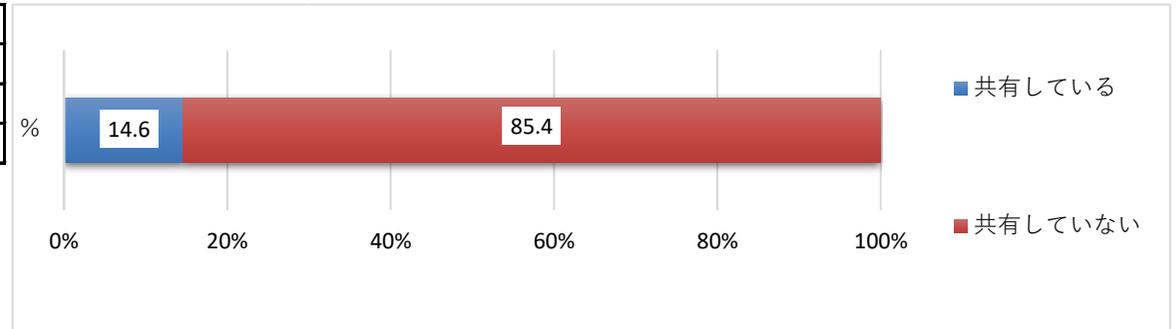
【Q6】Q5で、「詳しく話し合っている」または「一応話し合っている」を回答した方にお尋ねします。あなたは、誰と話し合いましたか？（あてはまるもの全てに選択）

内訳	人数	%
家族・親族	250	98.4
友人・知人	27	10.6
医療・介護従事者	9	3.5
その他	0	0.0



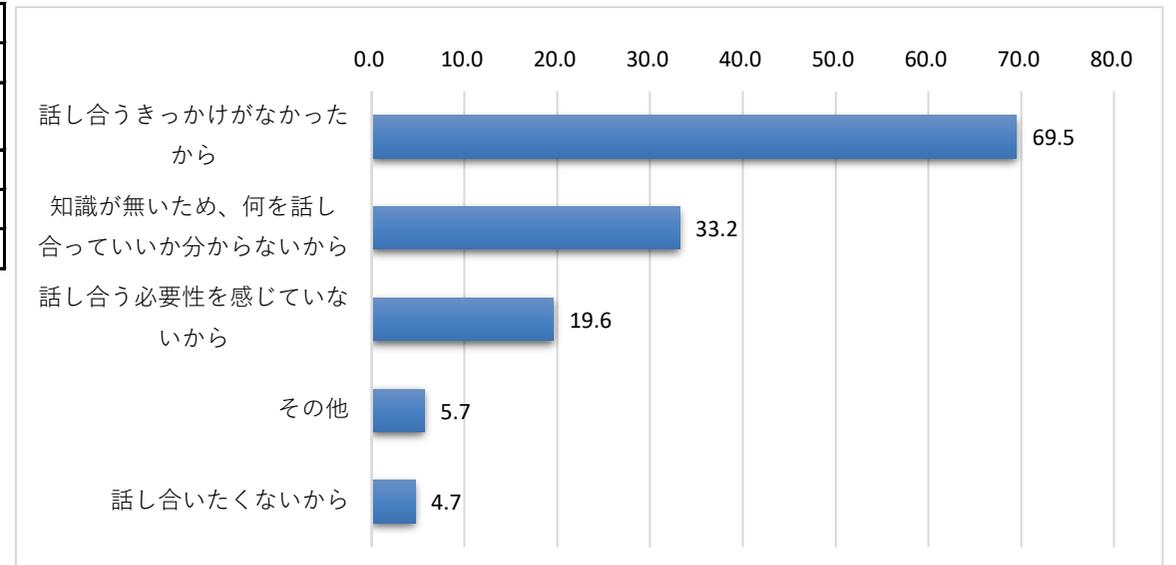
【Q7】Q5で、「詳しく話し合っている」または「一応話し合っている」と回答した方にお尋ねします。
あなたは、話し合った内容を医療・介護従事者と共有していますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
共有している	37	14.6
共有していない	217	85.4
合計	254	100.0



【Q8】Q5で、「話し合ったことはない」と回答した方にお尋ねします。あなたが、これまで話し合ったことはない理由は何ですか？（あてはまるもの全て選択）

内訳	人数	%
話し合うきっかけがなかったから	460	69.5
知識が無いため、何を話し合っているかわからないから	220	33.2
話し合う必要性を感じていないから	130	19.6
その他	38	5.7
話し合いたくないから	31	4.7



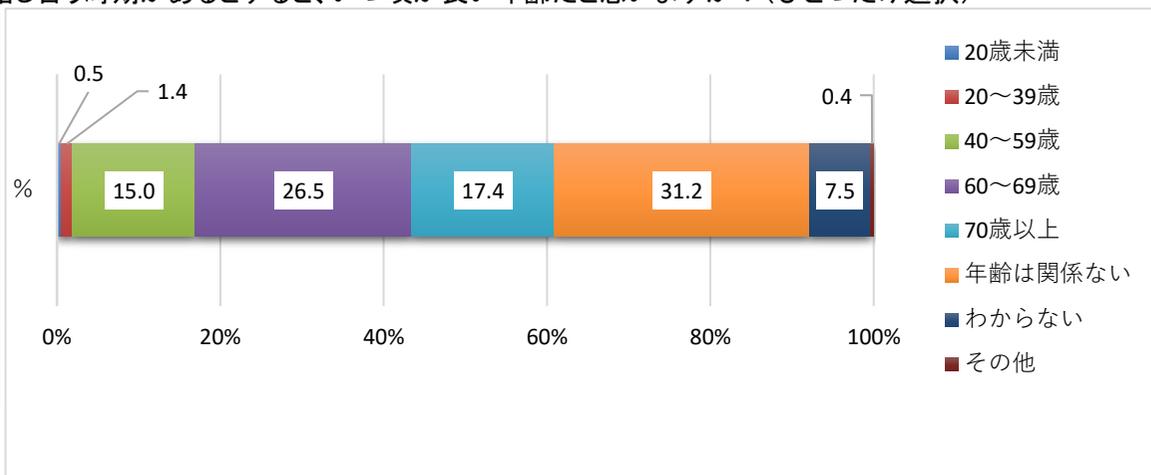
【Q8-1】その他(対象38人)

- よく冗談で死んだ後はこうして欲しい...とかは話しますが途中段階の話は考えたりしたことが無かった。
- 80代の母親が話したがらないから。
- こうしてほしいと思うことはあるが、状況、病状で変わるから伝えていない。
- この家族に言ってもわかってもらえないので、人生ノートに書いている。それを渡すつもり。
- そこまで死に直面していない。
- そんな話をする相手がない。
- まだ30代なので意識していない。
- まだタイミングではないと思ったから。
- まだもう少し先かなと思う。
- まだ自分で考えている段階
- まだ自分の死を具体的に考えられないから。
- まだ若いから。
- まだ先のことかなと思っているので。
- まだ先の事だと考えた事もなかったため。
- まだ話し合うには少し早い様に思うから。
- 家族がないから。
- 家族にお任せとしているため。
- 近くに身内がないから。
- 子がまだ学生で精神的な負担を避けたいから。
- 子供にまだ自覚がないから。
- 時期尚早かと思ってるので。
- 自分がその立場になるという実感が無いから。
- 自分については、まだ遠い先と思うから。
- 親の介護にいっぱいばいで、自分の人生の最終段階を考えたくても時間と余裕がない。
- 相手が嫌がる。
- 存在自体を知らないのではテーマに上がらないから。
- 日常が多忙のため。
- 日々の生活や育児に忙しく精一杯で、考える余裕がないため。
- 年齢や体の状態がまだその段階ではないから。
- 年齢的にこれから考えることかと思っている。
- 年齢的にまだ早いかと思ひ。

- 年齢的にも、そろそろ話した方が良いと思っている。
- 年齢的に必要性をまだ感じていない。
- 話したいと強く思っていますが、今のところ機会がない。
- 話し合う家族がいない。
- 話し合う人がいない。
- 話し合う相手がいない。
- 話す必要はあると考えているが、もう少し先で良いかと思っている。

【Q9】もし、ご家族等や医療・介護従事者と医療・ケアについて話し合う時期があるとする、いつ頃が良い年齢だと思いますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
20歳未満	5	0.5
20～39歳	13	1.4
40～59歳	137	15.0
60～69歳	243	26.5
70歳以上	159	17.4
年齢は関係ない	286	31.2
わからない	69	7.5
その他	4	0.4
合計	916	99.9

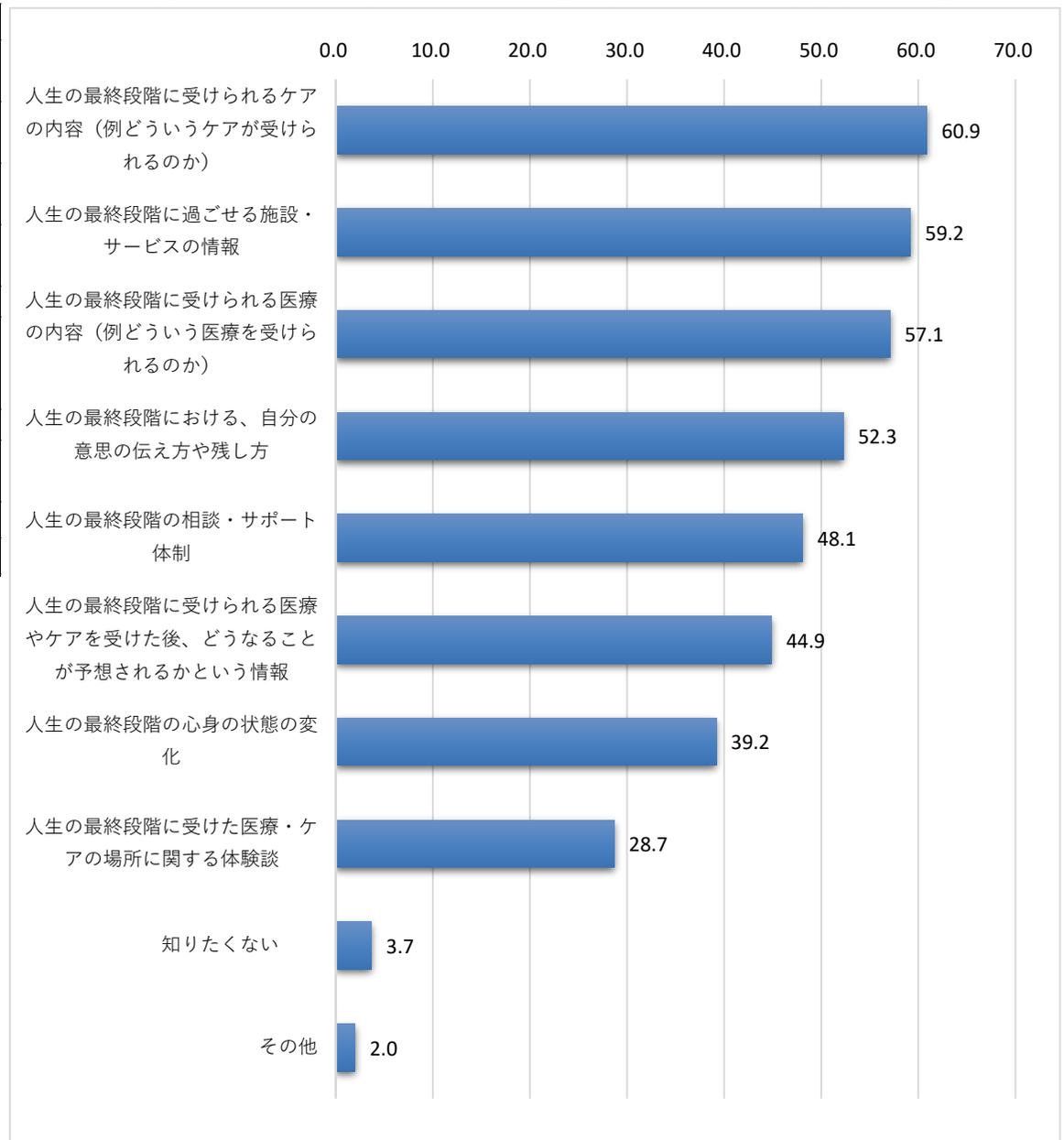


【Q9-1】その他（対象4人）

- 余命宣告された時や健康不安を感じたとき。
- 早ければ早いほどいいし、1回でなく何度も伝え合う事が大切。
- なし。
- 自分の死期を認識した時、または相応の年齢になった時。

【Q10】あなたの死が近い場合、受けていもしくは受けたくない医療・ケアを考えるために、どのような情報を得たいと思いますか？（あてはまるもの全て選択）

内訳	人数	%
人生の最終段階に受けられるケアの内容（例どういうケアが受けられるのか）	558	60.9
人生の最終段階に過ごせる施設・サービスの情報	542	59.2
人生の最終段階に受けられる医療の内容（例どういう医療を受けられるのか）	523	57.1
人生の最終段階における、自分の意思の伝え方や残し方	479	52.3
人生の最終段階の相談・サポート体制	441	48.1
人生の最終段階に受けられる医療やケアを受けた後、どうなることが予想されるかという情報	411	44.9
人生の最終段階の心身の状態の変化	359	39.2
人生の最終段階に受けた医療・ケアの場所に関する体験談	263	28.7
知りたくない	34	3.7
その他	18	2.0

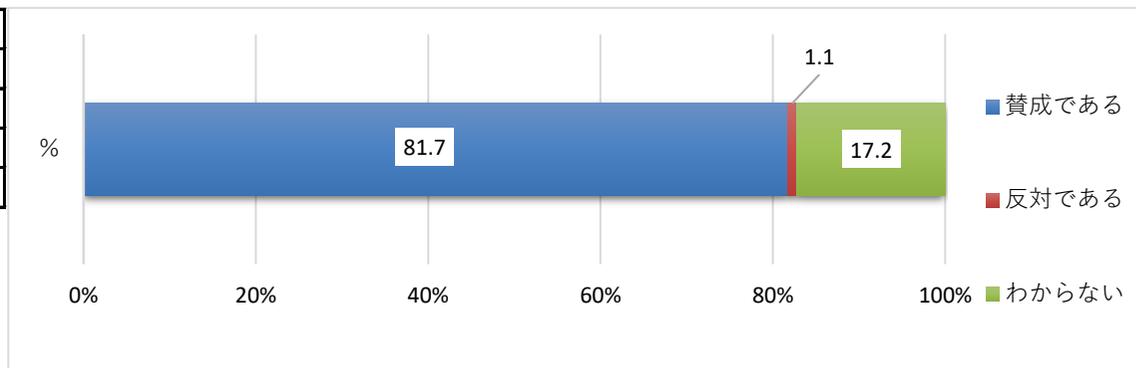


【Q10-1】その他(対象18人)

- 全て知っているので知る必要がない。
- ケアに要する費用(のシミュレーション)、総額・公費負担額・自己負担額の内訳
- なるべく健康寿命を伸ばすためにどうすべきかのアドバイス
- わかりません。
- 安楽死できるのか。
- 遺言書の作成
- 医療・介護関係の仕事についており一通りの情報、知識は持っているから。
- 医療やケア、サービスを受けるにあたり必要なお金がいくらか。
- 一般論としての回答をしました。
- 何も考えてない。
- 家族の負担
- 苦しまずすぐに亡くなれる方法
- 苦しまずに逝きたい。
- 具体的な費用と死期までの期間
- 受けたい医療などの金額や家族の負担
- 特になし。
- 分からない。
- 予後の医療ケアも大事だけど、1番は金銭的なこと。金銭的な部分で、諦めなければならないことがたくさん出てくる現実。

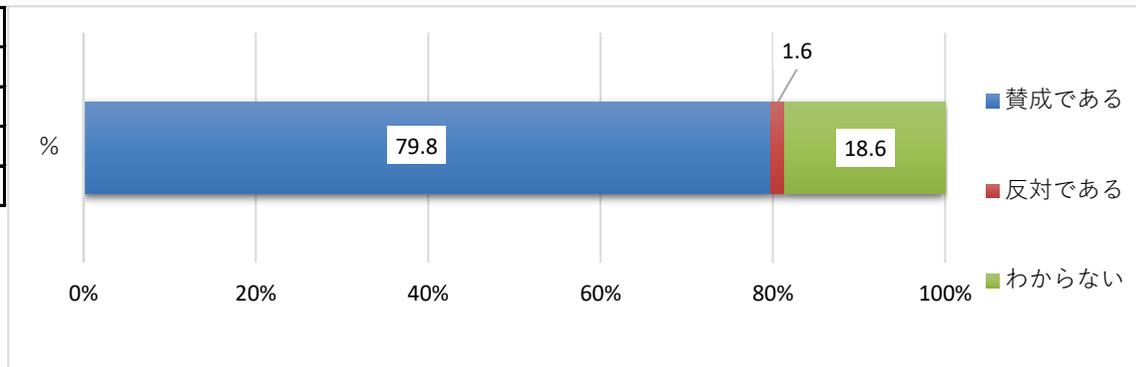
【Q11】あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・ケアを受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
賛成である	748	81.7
反対である	10	1.1
わからない	158	17.2
合計	916	100.0



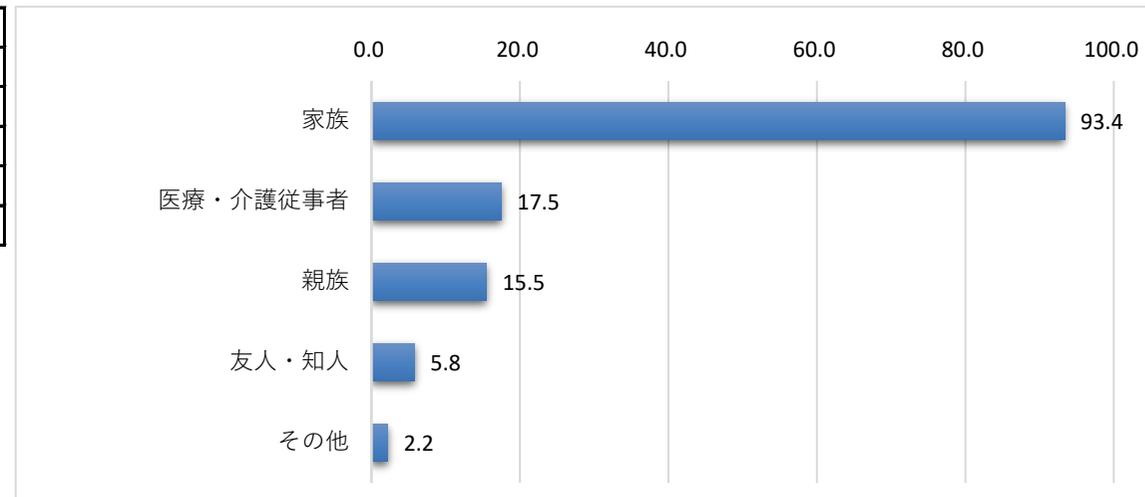
【Q12】あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、自分が信頼して自分の医療・ケアに関する方針を決めてほしいと思う人、もしくは人々を決めておくことについてどう思いますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
賛成である	731	79.8
反対である	15	1.6
わからない	170	18.6
合計	916	100.0



【Q13】あなたは、自分が意思決定できなくなったときに、自分の医療・ケアに関する方針を決めてほしいと思う人、もしくは決められると思う人は誰だと思いますか？（あてはまるもの全て選択）

内訳	人数	%
家族	856	93.4
医療・介護従事者	160	17.5
親族	142	15.5
友人・知人	53	5.8
その他	20	2.2

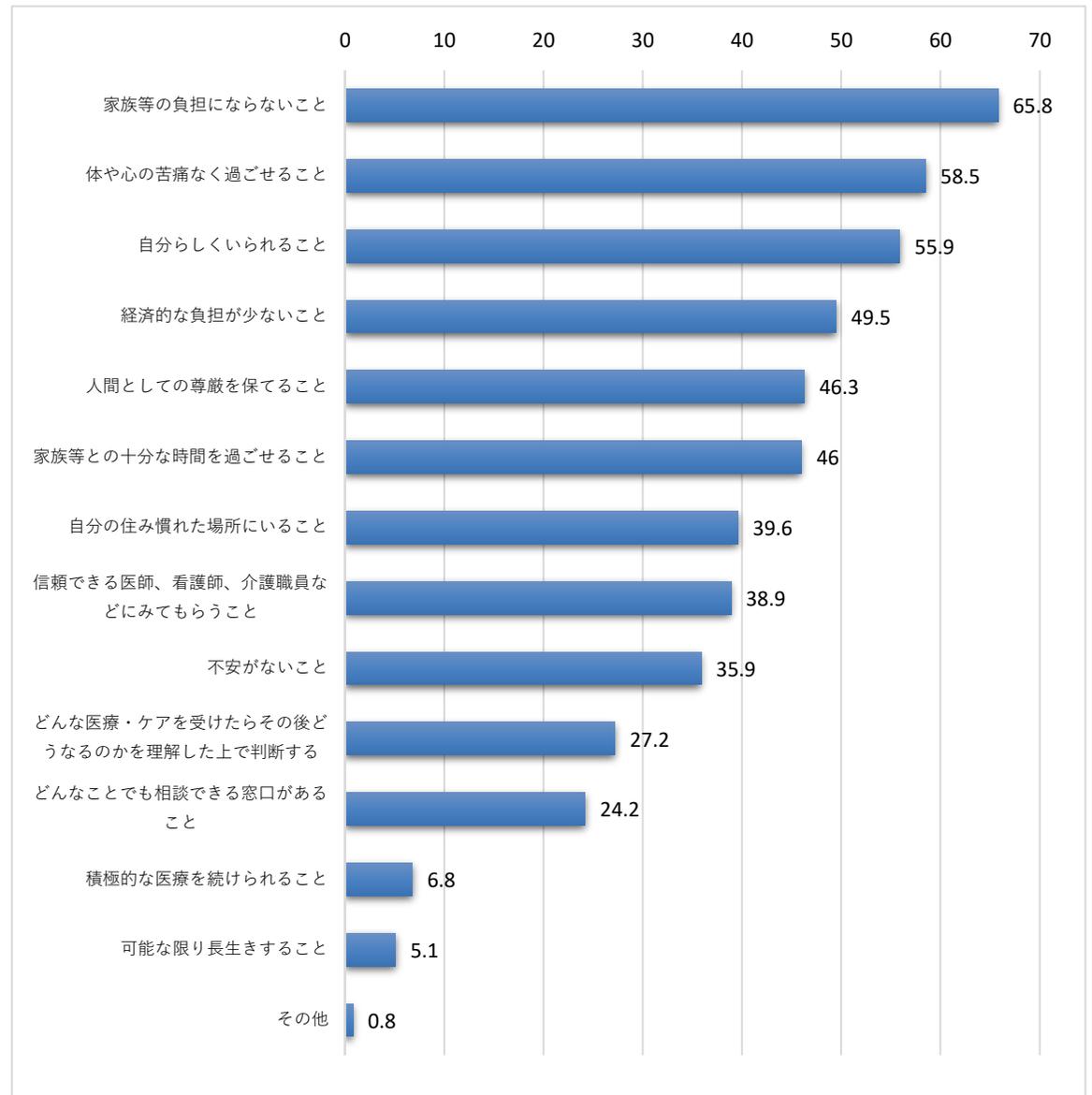


【Q13-1】その他(対象20人)

- 同性カップルなど現在の法制度では家族と認められていないパートナー
- NPO団体
- いない。
- ケースワーカー
- その状態で生きていたくない。
- そもそも誰かではなく、自分自身。意思決定できなくなる前に意思表示できるような何か(例えば臓器提供意思みたいな)。
- 意思とは裏腹に、ずっと最後を迎えたいのにいろんな事情で延命する家族もいる。なんとも難しい話。
- 家族と言いたいが、年金の受け取りなど、家族の生活の都合で延命されるのは微妙だからなんとも言えない。
- 居ない。
- 市長
- 自分の事を考えてくれている親族
- 信頼を置く福祉の関係者、民生委員
- 成年後見人
- 成年後見人等(現時点では成年後見人の医療同意が認められていないのは承知していますが)
- 誰もいない。
- 配偶者に判断させるのではなく事前にどうするか自分で考えておく。
- 亡き母は延命治療を一切したくない意向を家族である私たちに伝えていたので、医療従事者にその旨を伝えた。しかしながら、人工透析しましょうであったり、本人が苦しい治療を継続され、とてもつらい思いをした。
- 民間のプロ
- 姪っ子たち
- 私自身が決定できない内容なときは安楽死がいい。

【Q14】あなたが、どこで最期を迎えたいかを考える際に、重要だと思うことはなんですか？（あてはまるもの全て選択）

内訳	人数	%
家族等の負担にならないこと	603	65.8
体や心の苦痛なく過ごせること	536	58.5
自分らしくいられること	512	55.9
経済的な負担が少ないこと	453	49.5
人間としての尊厳を保てること	424	46.3
家族等との十分な時間を過ごせること	421	46
自分の住み慣れた場所にいること	363	39.6
信頼できる医師、看護師、介護職員などにみてもらうこと	356	38.9
不安がないこと	329	35.9
どんな医療・ケアを受けたらその後どうなるのかを理解した上で判断する	249	27.2
どんなことでも相談できる窓口があること	222	24.2
積極的な医療を続けられること	62	6.8
可能な限り長生きすること	47	5.1
その他	7	0.8



【Q14-1】その他(対象7人)

- 楽に亡くなること。
- あらかじめコースを選べる環境
- 海
- 項目は全部重要である、と考えます。が「わからない」が本心です。最後まで現実と理想が相反すると思うから。
- 治る見込み、自分の意志が決められないような状態になったら安楽死がいいと私は思う。
- 尊厳死
- 病状にもよるし、年齢にもよるが、家族の負担だけにはなりたくないと思う。

【Q15】もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・ケアを希望しますか。

-あなたの病状-
あなたが病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至ると考えたとき。

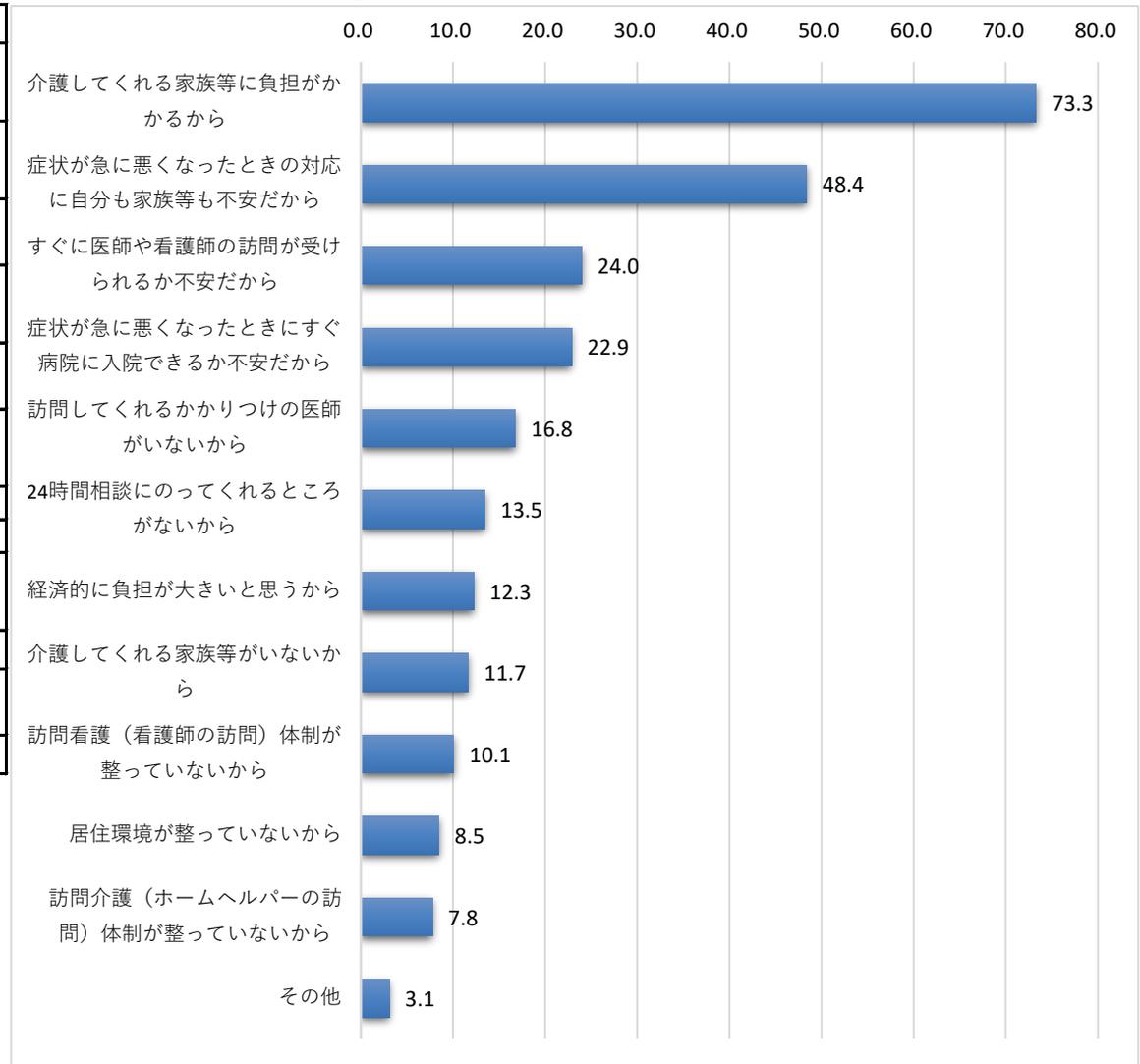
最期をどこで迎えたいですか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
医療機関	344	37.6
介護施設	102	11.1
自宅	470	51.3
合計	916	100.0



【Q15-1】Q15で、「医療機関」または「介護施設」を選択した方にお尋ねします。
 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください？（あてはまるもの全て選択）

内訳	人数	%
介護してくれる家族等に負担がかかるから	327	73.3
症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから	216	48.4
すぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから	107	24.0
症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安だから	102	22.9
訪問してくれるかかりつけの医師がいないから	75	16.8
24時間相談にのってくれるところがないから	60	13.5
経済的に負担が大きいと思うから	55	12.3
介護してくれる家族等がないから	52	11.7
訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていないから	45	10.1
居住環境が整っていないから	38	8.5
訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていないから	35	7.8
その他	14	3.1

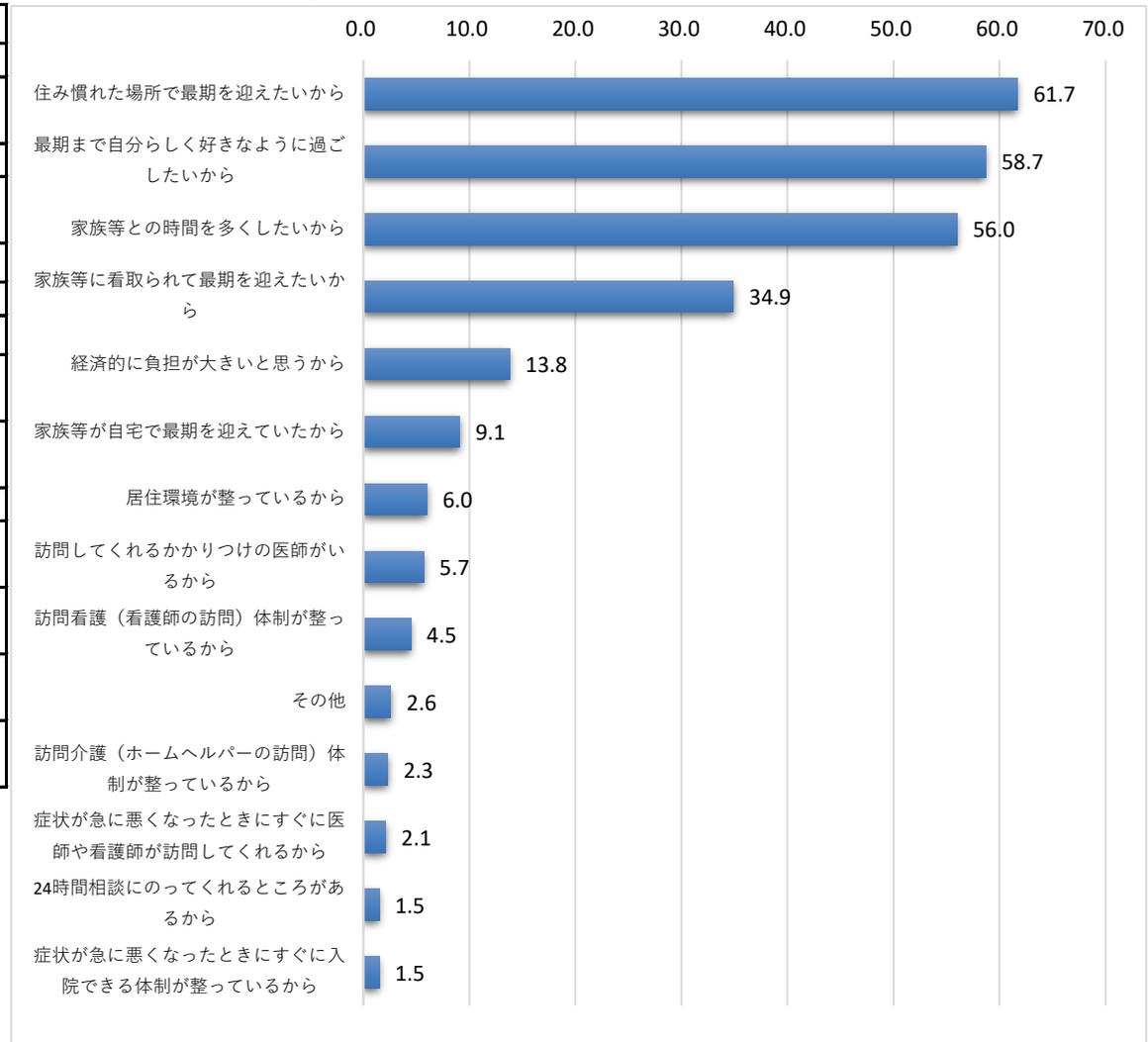


【Q15-1】その他(対象14人)

- 何かがあったのだとしたらたぶん病院に居るはずだから。
- すぐに臓器提供が出来るため。
- 医師 看護師とのやりとりができる
- 家族が面倒見てくれる可能性が低いから。
- 家族と程よく距離がとれるから。在宅介護となると、(たぶん)辛気臭い顔の家族とずっと一緒と考えると、えずきそうだから。
- 家族に負担がかからず、かつ安心感が強いから。
- 家族に負担がかかるから。
- 家族に迷惑をかけたくないから。
- 家族の負担になりたくない。
- 家族を一喜一憂させたくないから。
- 介護施設、医療機関等で死亡した際、そこから関係先への連絡入る？から。
- 在宅で最期を迎えるのは理想であるが、今の時代、家族の負担が大きいです。できるだけ、社会資源を活用して、最期をみんな負担なく迎えられたらと思います。
- 子どもに負担をかけたくない。
- 頼れる人がいないから、お金前払いするから最後まで面倒みてほしい。

【Q15-2】Q15で、「自宅」を選択した方にお尋ねします。
 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選びください？（あてはまるもの全て選択）

内訳	人数	%
住み慣れた場所で最期を迎えたいから	290	61.7
最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから	276	58.7
家族等との時間を多くしたいから	263	56.0
家族等に看取られて最期を迎えたいから	164	34.9
経済的に負担が大きいと思うから	65	13.8
家族等が自宅で最期を迎えていたから	43	9.1
居住環境が整っているから	28	6.0
訪問してくれるかかりつけの医師がいるから	27	5.7
訪問看護（看護師の訪問）体制が整っているから	21	4.5
その他	12	2.6
訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っているから	11	2.3
症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師が訪問してくれるから	10	2.1
24時間相談にのってくれるところがあるから	7	1.5
症状が急に悪くなったときにすぐに入院できる体制が整っているから	7	1.5

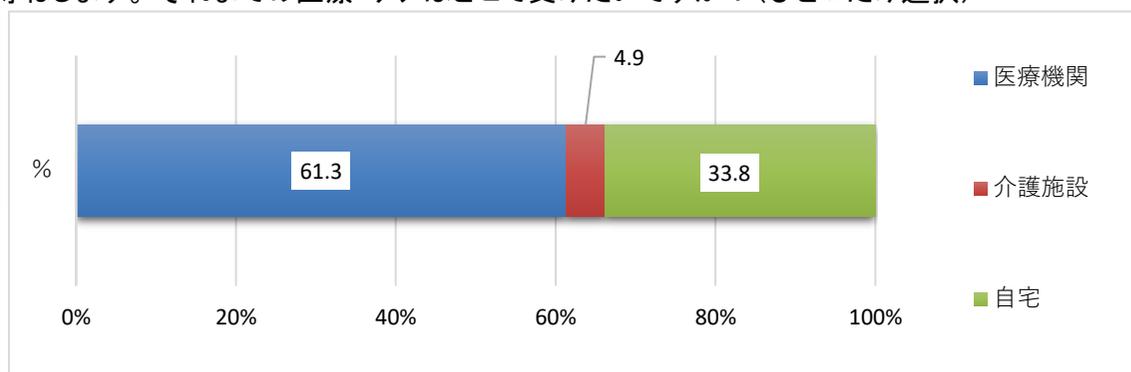


【Q15-2】その他(対象12人)

- 本当は自宅ではないが選択肢がなかったから仕方なく自宅とした。
- どちらかという自宅だが、諸事情により医療機関となってもよい。
- 見慣れた場所で最期を迎えたい。
- 現在の医療・ケアで納得できる施設は無さそう。
- 施設で最期を迎えた家族が自宅に帰りたがっていたので。
- 死ぬのが分かっているのなら医療機関にいる意味が無いと思うから。
- 飼い猫と一緒にいたいから。
- 治る見込みがないようなときは自分のしたいことをしたいと思う。
- 自宅でなくても構わないし、その状況になってまでわがままを通したいとは思わない。意思是働かないと思うし、残されているケアする側の負担にならなければどこでもよい。
- 条件提示に「日常生活が自分自身で行えるか？」など指定が無いので自宅を選んだ。行えない場合は介護施設を選択する。
- 独身で誰にも迷惑かけない分、いつ死んでもOKだから。
- 猫の世話

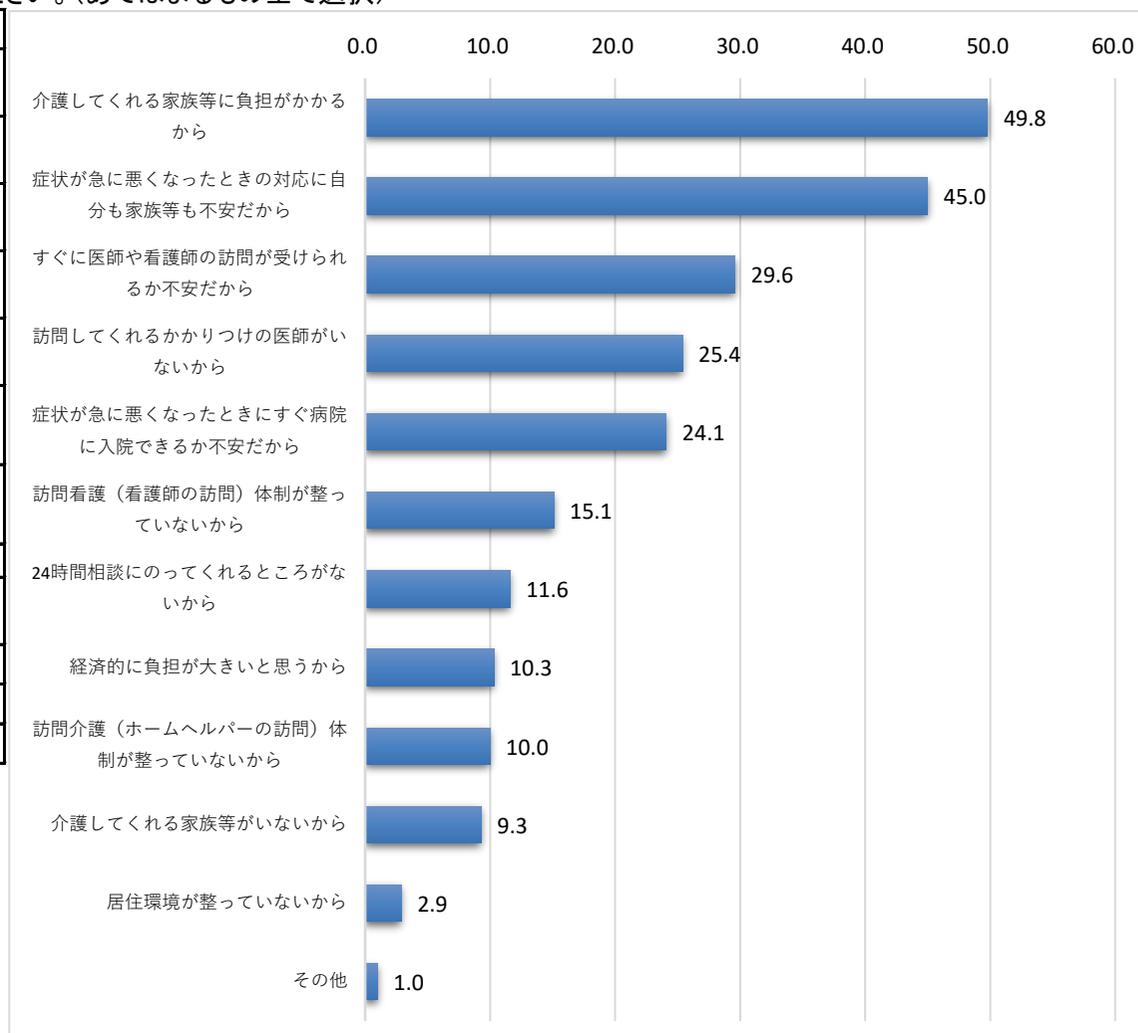
【Q16】Q15で、最期を「自宅」で迎えたいと回答された方にお尋ねします。それまでの医療・ケアはどこで受けたいですか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
医療機関	288	61.3
介護施設	23	4.9
自宅	159	33.8
合計	470	100.0



【Q16-1】Q16で、「医療機関」または「介護施設」を選択した方にお尋ねします。
 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。(あてはまるもの全て選択)

内訳	人数	%
介護してくれる家族等に負担がかかるから	155	49.8
症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから	140	45.0
すぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから	92	29.6
訪問してくれるかかりつけの医師がいないから	79	25.4
症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安だから	75	24.1
訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから	47	15.1
24時間相談にのってくれるところがないから	36	11.6
経済的に負担が大きいと思うから	32	10.3
訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていないから	31	10.0
介護してくれる家族等がないから	29	9.3
居住環境が整っていないから	9	2.9
その他	3	1.0

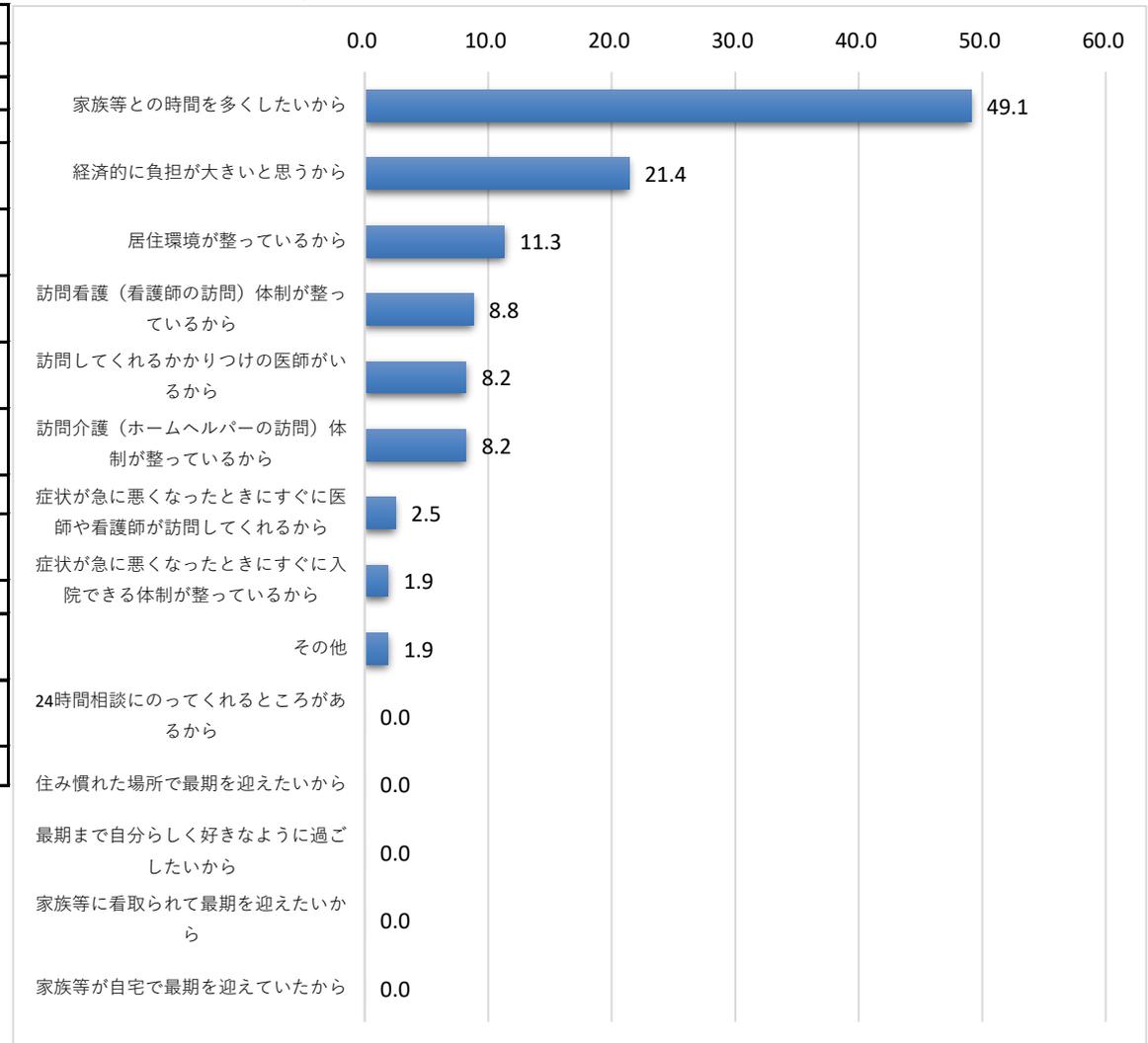


【Q16-1】その他(対象3人)

- 主治医がいるから。
- 本当の最後を迎えるまでは家族に面倒をかけたくない。
- わからない。

【Q16-2】Q16で、「自宅」を選択した方にお尋ねします。
なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選びください。(あてはまるもの全て選択)

内訳	人数	%
家族等との時間を多くしたいから	78	49.1
経済的に負担が大きいと思うから	34	21.4
居住環境が整っているから	18	11.3
訪問看護(看護師の訪問)体制が整っているから	14	8.8
訪問してくれるかかりつけの医師がいるから	13	8.2
訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っているから	13	8.2
症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師が訪問してくれるから	4	2.5
症状が急に悪くなったときにすぐに入院できる体制が整っているから	3	1.9
その他	3	1.9
24時間相談にのってくれるところがあるから	0	0.0
住み慣れた場所で最期を迎えたいから	0	0.0
最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから	0	0.0
家族等に看取られて最期を迎えたいから	0	0.0
家族等が自宅で最期を迎えていたから	0	0.0



【Q16-2】その他(対象3人)

- 受けない。
- 自然な成り行きにまかせるが、医療サービスの餌食になりたくない。
- 死が確定してるのなら抗うことはしたくない。

【Q17】もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・ケアを希望しますか。

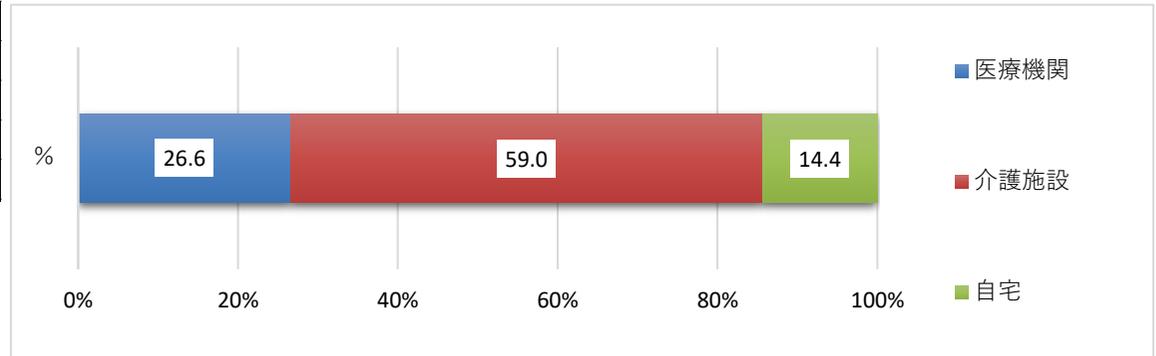
-あなたの病状-

認知症と診断され、状態は悪化し、自分の居場所や家族の顔が分からない状態です。

今は、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要です。

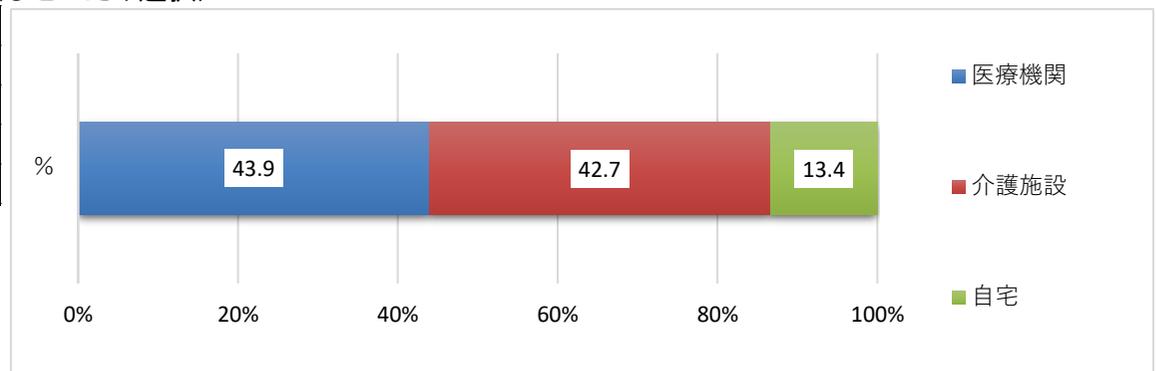
最期をどこで迎えたいですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
医療機関	244	26.6
介護施設	540	59.0
自宅	132	14.4
合計	916	100.0



【Q17-1】それまでの医療・ケアはどこで受けたいですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
医療機関	402	43.9
介護施設	391	42.7
自宅	123	13.4
合計	916	100.0



お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

皆さまからいただきました貴重なご意見を参考にさせていただき、本市の在宅医療・介護連携推進事業に関する施策を推進してまいります。

回答結果につきましては、介護保険事業計画や医療計画を策定する上での指標として活用させていただき、市民自らが人生の最終段階の医療や介護をどのように受けたいかについての施策の検討につなげていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力いただきますようお願いいたします。